

避雷器付住宅用分電盤

雷サージから家庭内の機器を保護!



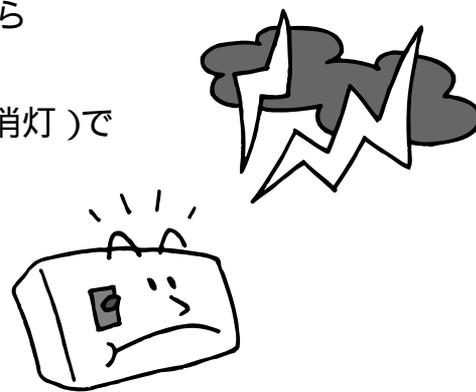
避雷器組込例



避雷器

特長

1. 電源線、アース線から侵入する誘導雷サージから家庭内の機器を保護します。
2. 避雷器の動作確認ランプ(通常時点灯、異常時消灯)で正常動作が目視確認できます。
3. 避雷器は分岐左下の2回路分スペースに組み込みます。



保守・点検

定期的に避雷器のランプ(赤色)が点灯していることを確認してください。

・・・特に襲雷時にランプの表示確認を行ってください。
 避雷器の2つのランプのうち1つでも消灯している場合は保護機能がないため、直ちに新品と交換してください。
 ・・・交換は、電気工事免許取得者の方が行ってください。
 DC500V以下の絶縁抵抗試験(対地間)は、避雷器を接続したままで実施することができます。

・・・絶縁抵抗が低い場合は、特性が劣化している可能性がありますので避雷器を新品と交換してください。
 線間の絶縁抵抗試験は、避雷器故障の要因となりますので実施しないでください。

耐圧試験を実施する場合は、避雷器の接続を外して実施してください。

接地について

- (1) 被保護機器は、分電盤のアース端子より配線されたアース線に接続し、避雷器と連接一点アースとしてください。被保護機器と避雷器が連接一点アースされていない場合、保護能力が大きく低下する可能性があります。
- (2) 住宅用分電盤の盤アース端子は、5.5mm以上の太さの電線で接地してください。盤アース端子の接地は、D種接地(第3種接地)で抵抗値を極力低くしてください。
- (3) 避雷針の接地との共用はしないでください。
- (4) 配線は、「配線用参考図」を参考にしてください。

(下図参照)

避雷器の仕様

適用回路	1 3W AC100/200V 1 2W AC100-200V
放電耐量	6.5kA(8×20μs, 2回) 10kA(8×20μs, 1回)
動作開始電圧	線間:390V 大地間:1.8kV

配線用参考図

